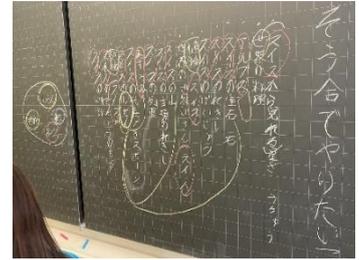


総合的な学習の時間 小学部3・4年生(2023年度)の取組

中学年の学級には日本から編入した児童が半数以上いたため、新しく暮らす土地であるスイスについて調べたいという意欲が高まっていました。「スイス」「自然」「歴史」「世界」というキーワードをもとに話し合い、「世界遺産」をテーマに設定しました。



「世界遺産とは何だろう。」という課題をもって、スイスの子供向けに作られた世界遺産を紹介する動画を見ました。ネイティブの英語の先生にお願いして、簡単な英語に直し、詳しく説明していただきました。

学校行事のサマーキャンプでの中のクラス活動では、スイスの世界遺産と深い関わりのある氷河の渓谷や、氷河が解けた水が流れ込んでいる川のほとりを散策しました。

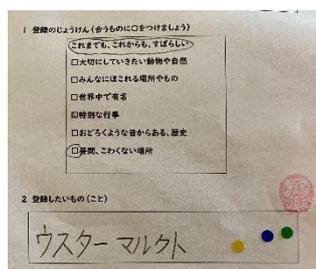


学習発表会では自分たちで調べたことを説明したりクイズにして出題したりしました。社会科や国語科の学びを生かし、資料を提示しながら説明することができました。



このような探究活動を経て、自分たちが見つけたスイスのすばらしいものを「スイスイさん」(スイス遺産)として認定し、大切にしていこうと考えました。下級生や上級生、先生にアンケートを行い、身近な人たちの考えも参考にしました。自分たちの住む町ウスターやチューリッヒ州の名所など身近にあるお気に入りの場所や行事を紹介したいと考えました。

地域についての学びを深める3・4年生らしい活動となりました。子供たちが大きくなり、スイスの生活を思い返すとき、この1年間のことを思い出してもらえたらうれしいです



総合的な学習の時間 小学部3・4年生

小学部3・4年生の総合的な学習の時間では、「スイスの食材・料理」をテーマに学習しています。私たちは、スイスに住んではいますが、日常生活では日本と同じような食事をしていることが多いです。もっとスイスの料理を知りたいという思いからこの学習をスタートしました。

1学期は、地元のスーパーマーケットに出かけ、どんな食材が売られているのかを調査しました。日本では見掛けない野菜がたくさんあったことから、その名前や旬、食べ方などを調べたり、実際に素材の味を食べて確かめたりする活動をしました。



2学期には、在スイス日本大使館の公邸料理人の方から、直接スイスの料理について教えていただける機会がありました。大使公邸のキッチンで、スイスの野菜のおいしい食べ方や調理の仕方、スイスの料理の特徴などを、実演を交えて教えていただきました。



また、10月の学習発表会では、学習したことをクイズやスライドでの説明、歌にして紹介しました。



学習発表会後は、スイスの食材を使った料理を、お客様を招いてふるまう食事会を開く計画しました。誰に、どんな料理をふるまうのか、味付けや料理名はどうするのか、招待状のレイアウトはどうするのかなどを話し合いました。また、実際に調理し、改善点を出し合いながら、おいしい料理になるように工夫しました。



当日は、保護者や運営委員会の方をお招きし、スイスの食材を生かした手料理をふるまいました。1年間の学習成果を披露する場となりました。

